

# 1. 学校外での英語学習 ①学校外での英語学習

学校外で英語学習を「行っている」小学生は2割弱。この割合は、大都市と中都市だと2割程度だが、郡部では1割程度と地域差がある。また、保護者自身の英語とのかかわりによって、子どもに学校外で英語学習をさせるかどうかは異なっている。

Q 現在、お子様は、学校の授業以外で、英語や英会話の学習を行っていますか。

図4-1-1 学校外での英語学習 (n=4,718)



図4-1-2 学校外での英語学習 (子どもの性別)

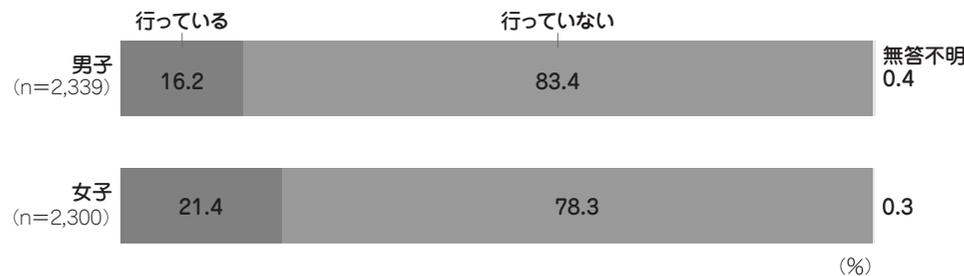
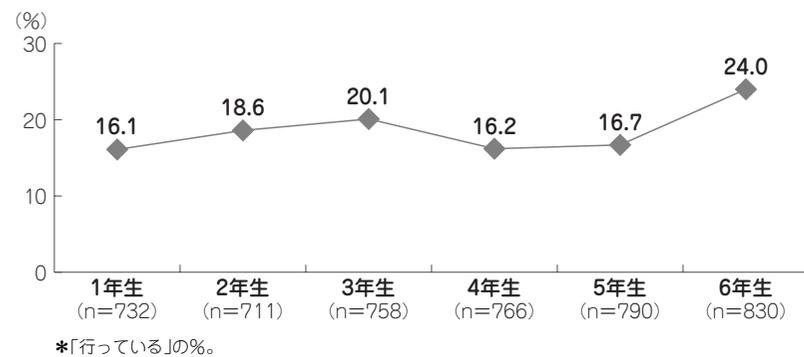


図4-1-3 学校外での英語学習 (学年別)

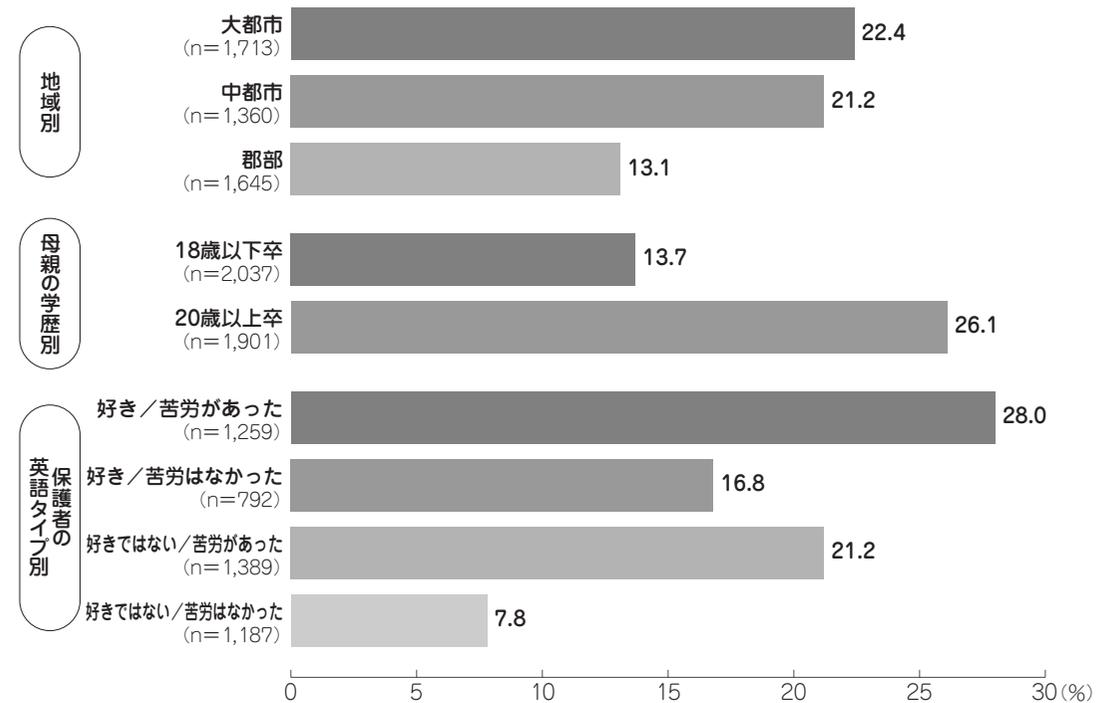


子どもへの教育の場は学校だけではない。家庭での教育はもちろんであるが、保護者はそれぞれの教育方針にもとづいて、塾や教室などの学校以外の場で習い事や学習をさせるという選択も行っているだろう。そこで、本章では、英語学習を中心に、小学生の学校外での習い事や学習についてみていきたい。

学校の授業以外で、英語や英会話の学習を「行っている」小学生の割合は18.8%である(図4-1-1)。性別で見ると、男子16.2%<女子21.4%となっており、女子の方が5ポイント程度多い(図4-1-2)。また、学年別では、6年生が24.0%とやや多い傾向がみられる(図4-1-3)。

図4-1-4 学校外での英語学習

(地域別/母親の学歴別/保護者の英語タイプ別)



\*「行っている」の%。  
 \*「母親の学歴別」は、母親の回答のみ分析。「あなたが最後に学校を卒業したのは、だいたい何歳のときでしたか」の設問に、「15歳」「18歳」と回答した場合は「18歳以下卒」、「20歳」「22歳」「24歳以上」と回答した場合は「20歳以上卒」とした。  
 \*「保護者の英語タイプ別」は、「英語が好きですか」の設問で「とても好き」「まあ好き」と回答した場合を「好き」、「あまり好きではない」「まったく好きではない」を「好きではない」とし、「今まで英語で苦労したことがありますか」の設問で「とてもあった」「まああった」と回答した場合を「苦労があった」、「あまりなかった」「まったくなかった」を「苦労はなかった」として、それぞれの組み合わせから4タイプに分類した。

では、地域や保護者によって、子どもの学校外での英語学習の状況には、どのくらい違いがあるのだろうか(図4-1-4)。

はじめに地域別にみると、大都市と中都市では、それぞれ2割を超える子どもが学校外で英語学習を行っているが、郡部では13.1%にとどまっている。子どもが通うことのできる範囲内に、たとえば英会話教室のような学習の場があるかどうかといった条件は、地域によって大きな差があると考えられる。

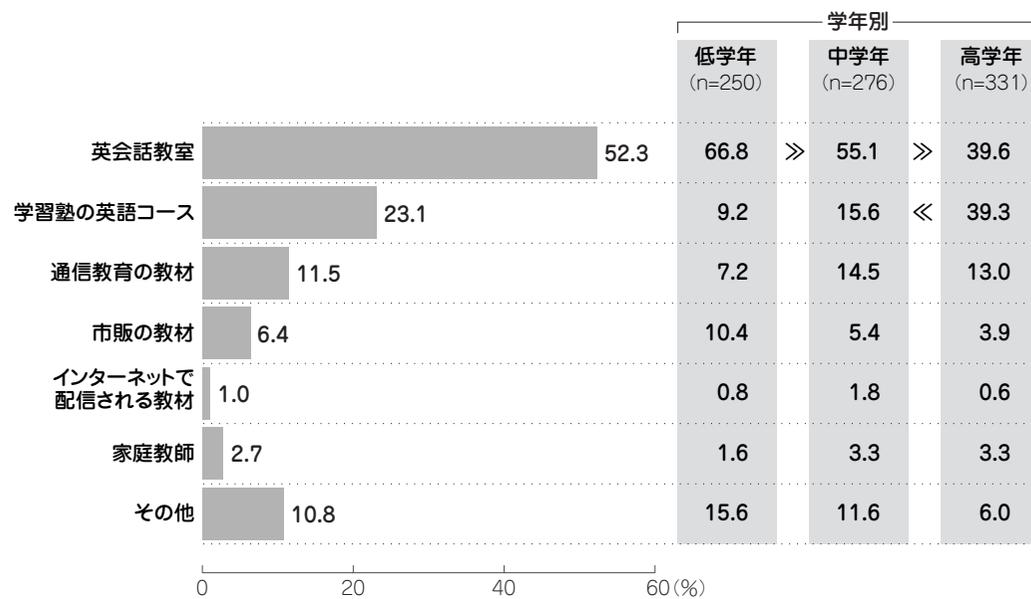
次に母親の学歴による違いをみてみよう。「18歳以下卒」の母親の場合には、子どもが学校外で英語学習を行っている割合は13.7%である。これに対し、「20歳以上卒」の母親の場合だと26.1%である。また、保護者自身の英語とのかかわりからみると、英語が好きで苦労した経験をもつ保護者だと、実に28.0%の子どもが英語学習を行っている。それに対して、英語が好きではなく苦労した経験をもたない保護者だと、その割合はわずか7.8%にとどまる。また、好きではないが苦労した経験をもつ保護者の場合にも、21.2%が英語学習を行わせている。自分自身が英語に苦労したからこそ、子どもにはそうした苦労をさせたくないといった保護者の思いも、子どもに英語学習を行わせるきっかけの一つになっているのかもしれない。

## ②教室や教材の種類

学校外で英語学習を「行っている」場合の教室や教材の種類をみると、52.3%が「英会話教室」で、23.1%が「学習塾の英語コース」だった。また、高学年になると、「学習塾の英語コース」が増加する。

Q お子様は、どのような教室や教材で、英語の学習を行っていますか。

図4-1-5 教室や教材の種類 (全体/学年別)



\*複数回答。  
\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人(886人)のみ対象。  
\*「>」は10ポイント以上の差があったもの。

表4-1-1 教室や教材の種類 (地域別/母親の学歴別)

教室や教材の種類	地域別 (%)			母親の学歴別 (%)	
	大都市 (n=383)	中都市 (n=288)	郡部 (n=215)	18歳以下卒 (n=279)	20歳以上卒 (n=496)
英会話教室	62.4	50.0	37.2	55.2	52.2
学習塾の英語コース	11.2	28.1	37.7	29.4	19.4
通信教育の教材	11.7	8.3	15.3	9.0	12.9
市販の教材	7.0	5.6	6.5	3.2	8.1
インターネットで配信される教材	1.8	0.3	0.5	0.0	1.6
家庭教師	2.6	2.8	2.8	1.8	2.8
その他	14.6	9.0	6.5	6.8	13.1

\*複数回答。  
\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみ対象。  
\*「>」は5ポイント以上の差があったもの。「<」は10ポイント以上の差があったもの。  
\*「母親の学歴別」は、母親の回答のみ分析。「あなたが最後に学校を卒業したのは、だいたい何歳のときでしたか」の設問に、「15歳」「18歳」と回答した場合は「18歳以下卒」、「20歳」「22歳」「24歳以上」と回答した場合は「20歳以上卒」とした。

前項でみたように学校外で英語学習を行っている小学生は2割弱であったが、どのような学習を行っているのだろうか。学校外で英語学習を「行っている」場合の教室や教材の種類をみてみよう(図4-1-5)。

教室や教材の種類としてもっとも多かったのは「英会話教室」で52.3%だった。次いで、「学習塾の英語コース」が23.1%、「通信教育の教材」が11.5%で続く。学年別にみると、低学年や中学年では、圧倒的に「英会話教室」が多く、それぞれ66.8%、55.1%となっている。しかし、高学年になると「英会話教室」は減少傾向となり、「学習塾の英語コース」が多くなる。このように、学校外で英語学習を行うということは同様でも、その具体的な方法は学年によって異なっている。

次に、地域別ならびに母親の学歴別に、子どもが英語学習を「行っている」場合の教室や教材の種類をみてみよう(表4-1-1)。地域別にみると、大都市では「英会話教室」の割合が62.4%で、郡部と比べると特に高い。一方で郡部では、「英会話教室」と「学習塾の英語コース」は、ほぼ同じ割合となっており、学習の場が地域により異なることがわかる。

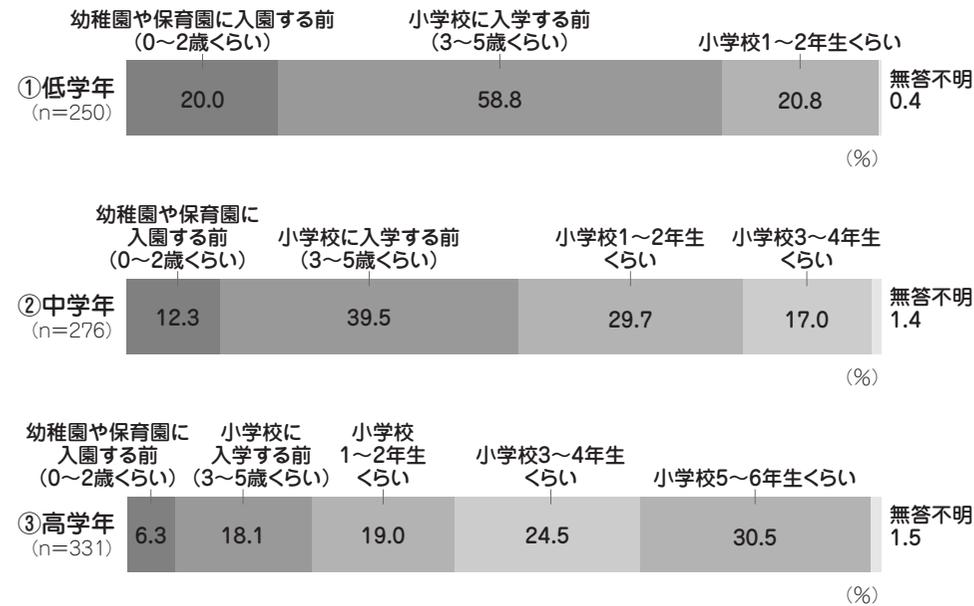
また、母親の学歴別でみると、「英会話教室」についてはほとんど差がみられないが、「学習塾の英語コース」については、「18歳以下卒」の母親だと29.4%、「20歳以上卒」の母親だと19.4%と、ここでは10.0ポイントの差がみられた。

### ③開始年齢

学校外で英語学習を「行っている」場合の開始年齢をたずねたところ、低・中学年では「小学校に入学する前(3~5歳くらい)」がもっとも多かった。高学年の場合には「小学校5~6年生くらい」がもっとも多い。

Q お子様に、最初に英語を学ばせたのはいつごろですか。

図4-1-6 英語学習の開始年齢(学年別)



\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみ対象。  
\*この設問は、子どもの学年によって、回答できる年齢の範囲が異なる。そのため低学年、中学年、高学年をあらかじめ分けて示した。

保護者は、どのくらいの年齢から子どもに英語学習をはじめさせているのだろうか。ここでは、学校外で英語学習を「行っている」と回答した人に、子どもにはじめて英語学習をさせたのはいつごろなのかをたずねた(図4-1-6)。なお、この設問は、子どもの学年によって、回答できる年齢の範囲が異なる。そのため、子どもが低学年の場合、中学年の場合、高学年の場合にあらかじめ分けて示した。

はじめに、低学年の場合をみると、もっとも多いのは「小学校に入学する前(3~5歳くらい)」で58.8%である。次いで「幼稚園や保育園に入園する前(0~2歳くらい)」と「小学校1~2年生くらい」がともに2割ずつであった。中学年の場合にも、もっとも多いのは「小学校に入学する前」で39.5%、次いで「小学校1~2年生くらい」が29.7%、「小学校3~4年生くらい」が17.0%となっていた。一方、すべての選択肢に回答する可能性のある高学年の場合をみると、もっとも多いのは「小学校5~6年生くらい」で30.5%、次いで、「小学校3~4年生くらい」で24.5%、「小学校1~2年生くらい」が19.0%だった。

表4-1-2 英語学習の開始年齢(地域別/母親の学歴別)

①低学年 (%)

	地域別			母親の学歴別	
	大都市 (n=137)	中都市 (n=64)	郡部 (n=49)	18歳以下卒 (n=61)	20歳以上卒 (n=162)
幼稚園や保育園に入園する前(0~2歳くらい)	25.5	14.1	12.2	21.3	21.0
小学校に入学する前(3~5歳くらい)	56.9	68.8	51.0	57.4	61.1
小学校1~2年生くらい	17.5	15.6	36.7	19.7	17.9
無答不明	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0

②中学年 (%)

	地域別			母親の学歴別	
	大都市 (n=141)	中都市 (n=79)	郡部 (n=56)	18歳以下卒 (n=83)	20歳以上卒 (n=161)
幼稚園や保育園に入園する前(0~2歳くらい)	20.6	3.8	3.6	13.3	10.6
小学校に入学する前(3~5歳くらい)	41.1	38.0	37.5	38.6	42.9
小学校1~2年生くらい	27.0	31.6	33.9	28.9	30.4
小学校3~4年生くらい	9.2	26.6	23.2	16.9	15.5
無答不明	2.1	0.0	1.8	2.4	0.6

③高学年 (%)

	地域別			母親の学歴別	
	大都市 (n=96)	中都市 (n=135)	郡部 (n=100)	18歳以下卒 (n=124)	20歳以上卒 (n=165)
幼稚園や保育園に入園する前(0~2歳くらい)	11.5	4.4	4.0	3.2	6.7
小学校に入学する前(3~5歳くらい)	26.0	17.0	12.0	18.5	18.8
小学校1~2年生くらい	21.9	17.0	19.0	20.2	15.8
小学校3~4年生くらい	21.9	23.0	29.0	24.2	25.5
小学校5~6年生くらい	18.8	36.3	34.0	30.6	32.7
無答不明	0.0	2.2	2.0	3.2	0.6

\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみ対象。  
\*この設問は、子どもの学年によって、回答できる年齢の範囲が異なる。そのため低学年、中学年、高学年をあらかじめ分けて示した。  
\*「母親の学歴別」は、母親の回答のみ分析。「あなたが最後に学校を卒業したのは、だいたい何歳のときでしたか」の設問に、「15歳」「18歳」と回答した場合は「18歳以下卒」、「20歳」「22歳」「24歳以上」と回答した場合は「20歳以上卒」とした。

低学年、中学年、高学年のそれぞれについて、英語学習の開始年齢を地域別および母親の学歴別にみた(表4-1-2)。

地域別の傾向をみると、たとえば高学年では、「幼稚園や保育園に入園する前」「小学校に入学する前」といった回答が、中都市や郡部に比べ、大都市で多くなっている。大都市の保護者の場合、早い時期から子どもに英語を習わせ始めている割合が高い傾向がみとれる。低学年や中学年についても、大都市の方が、「幼稚園や保育園に入園する前」との回答は多く、同様の傾向であると考えられる。

一方、母親の学歴別にみたところ、低学年、中学年、高学年ともに、子どもにはじめて英語学習をさせた年齢については、違いがみられなかった。前項および前々項でみたように、学校外で英語学習を「行っている」割合や、学習をしている教室や教材の種類については、母親の学歴による違いがあるが、子どもに英語学習をさせている場合の開始年齢については違いはないようである。

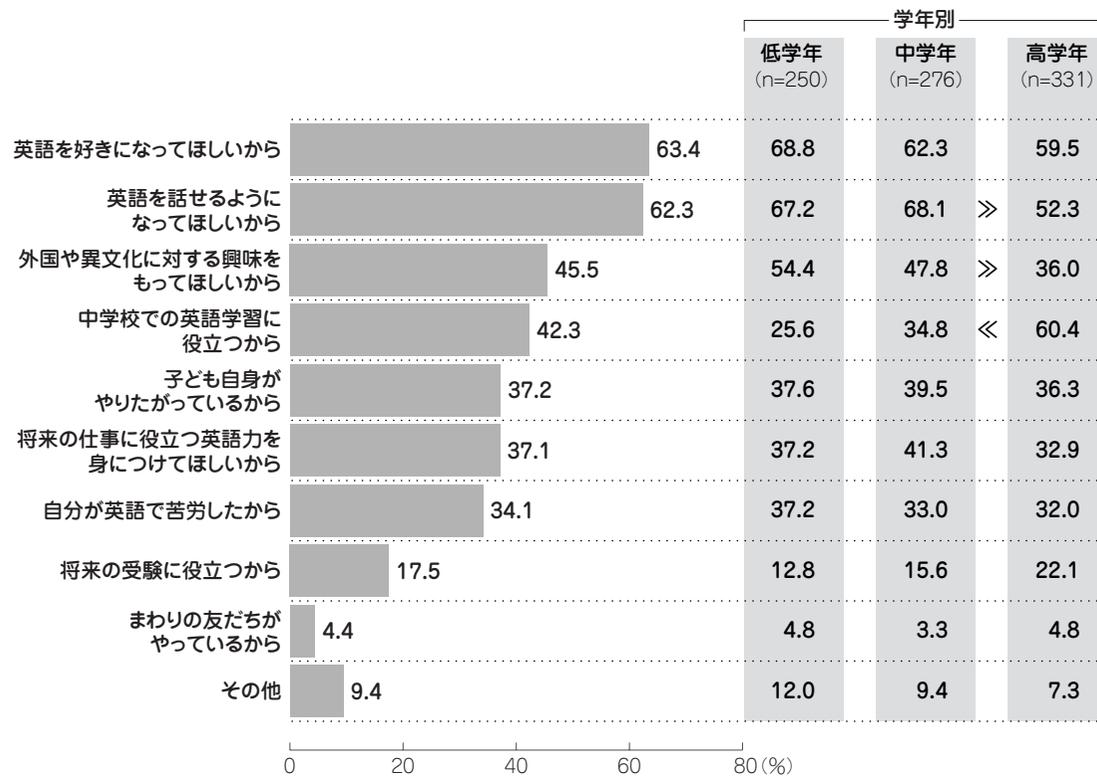
### ④ 学習の理由

学校外で子どもに英語学習をさせている保護者のうち、約6割が「英語を好きになってほしいから」「英語を話せるようになってほしいから」という理由をあげている。また、高学年になると、「中学校での英語学習に役立つから」という理由が大幅に増える。

表4-1-3 学校外で英語学習をさせている理由  
(地域別/母親の学歴別)

Q あなたが、お子様に英語の学習をさせている理由は何ですか。

図4-1-7 学校外で英語学習をさせている理由 (全体/学年別)



\*複数回答。  
\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみ対象。  
\*「<>」は10ポイント以上の差があったもの。

学校外で子どもに英語学習をさせている保護者に、その理由を複数回答でたずねた(図4-1-7)。約6割が「英語を好きになってほしいから」「英語を話せるようになってほしいから」という理由をあげており、「外国や異文化に対する興味をもってほしいから」「中学校での英語学習に役立つから」が4割台である。

学年別では、高学年になると「中学校での英語学習に役立つから」という理由が大幅に増える一方、「英語を話せるようになってほしいから」「外国や異文化に対する興味をもってほしいから」といった理由は減少する。子どもの学年によって、学校外での英語学習の目的は異なっている。

理由	地域別			母親の学歴別	
	大都市 (n=383)	中都市 (n=288)	郡部 (n=215)	18歳以下卒 (n=279)	20歳以上卒 (n=496)
英語を好きになってほしいから	66.3	63.9	57.7	62.7	65.7
英語を話せるようになってほしいから	70.0	60.8	50.7	59.5	64.9
外国や異文化に対する興味をもってほしいから	58.2	39.2	31.2	34.4	54.6
中学校での英語学習に役立つから	28.2	52.1	54.4	49.8	38.5
子ども自身がやりたがっているから	35.5	37.8	39.5	37.6	38.1
将来の仕事に役立つ英語力を身につけてほしいから	41.3	30.6	38.6	40.1	36.9
自分が英語で苦労したから	33.9	29.9	40.0	37.3	34.5
将来の受験に役立つから	12.3	18.8	25.1	21.9	13.7
まわりの友だちがやっているから	2.3	5.9	6.0	4.3	4.4
その他	11.7	10.1	4.2	7.9	9.7

\*複数回答。  
\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみ対象。  
\*「<>」は5ポイント以上の差があったもの。「<<>」は10ポイント以上の差があったもの。  
\*「母親の学歴別」は、母親の回答のみ分析。「あなたが最後に学校を卒業したのは、だいたい何歳のときでしたか」の設問に、「15歳」「18歳」と回答した場合は「18歳以下卒」、「20歳」「22歳」「24歳以上」と回答した場合は「20歳以上卒」とした。

次に、学校外で英語学習をさせている理由を、地域別ならびに母親の学歴別にみた(表4-1-3)。多くの項目で地域による違いがみられるが「英語を話せるようになってほしいから」「外国や異文化に対する興味をもってほしいから」といった理由は、郡部<中都市<大都市の順で多くなっている。これとは反対の傾向として、「中学校での英語学習に役立つから」という理由は、中都市や郡部だと5割を超えるのに対して、大都市では28.2%と圧倒的に少ない。また、「将来の受験に役立つから」という理由は、大都市<中都市<郡部の順で多くなっている。

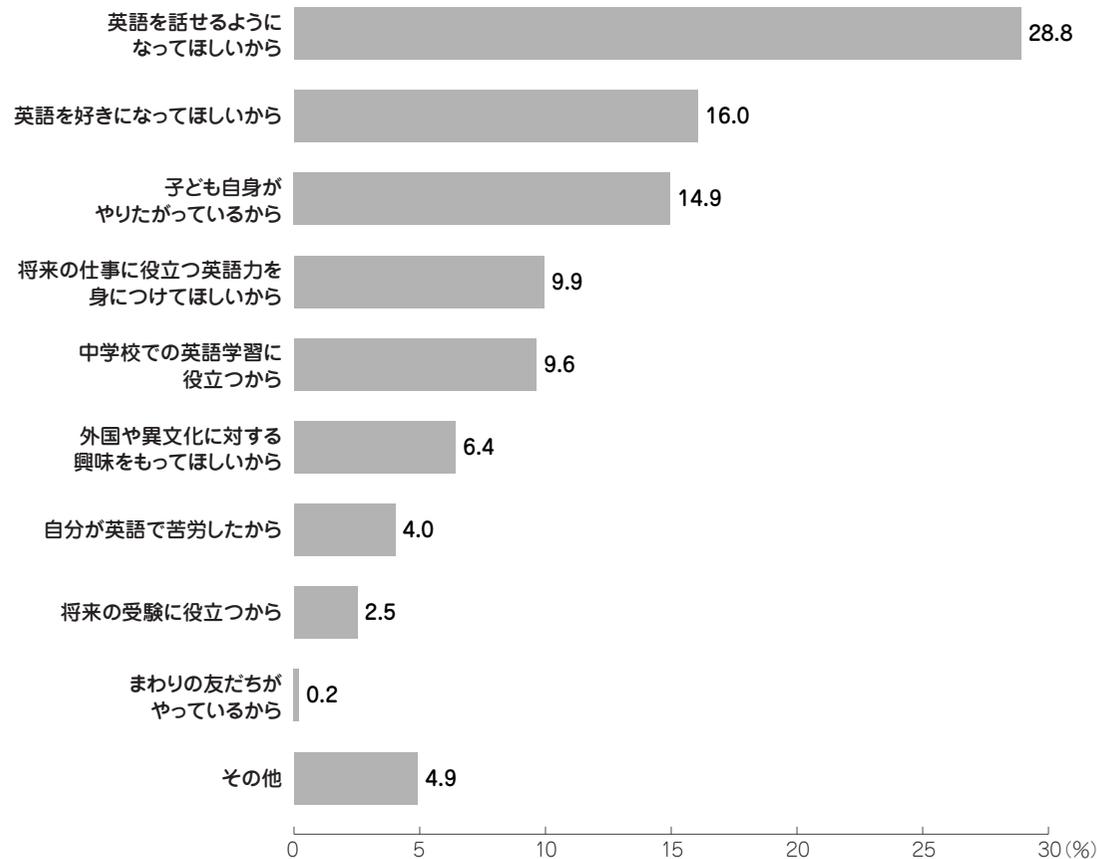
母親の学歴別では、「英語を話せるようになってほしいから」「外国や異文化に対する興味をもってほしいから」という理由は「20歳以上卒」の母親の方が多い。一方、「中学校での英語学習に役立つから」「将来の受験に役立つから」という理由は「18歳以下卒」の母親の方が多い。対比させてみると、「20歳以上卒」の母親の方が、英語の会話面や文化面に、一方で「18歳以下卒」の母親は、学校教育において役に立つかどうかに関心を寄せている傾向がみられる。

## ⑤ 学習の最大の理由

学校外で子どもに英語学習をさせている最大の理由としては、「英語を話せるようになってほしいから」がもっとも多くあげられた。また、高学年になると、「中学校での英語学習に役立つから」ということを最大の理由にあげる割合が大幅に増える。

Q お子様に英語の学習をさせている理由の中で、もっとも大きな理由はどれですか。

図4-1-8 学校外で英語学習をさせている最大の理由



\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみ対象。

\*「無答不明」は図から省略した。

前項で取り上げた学校外で英語学習をさせている理由のうち、最大の理由は何かをたずねた結果が図4-1-8である。

学校外で英語学習をさせている最大の理由の中で、第1位だったのは、「英語を話せるようになってほしいから」で28.8%だった。次いで、「英語を好きになってほしいから」16.0%、「子ども自身がやりたがっているから」14.9%と続く。英語学習の理由を複数回答でたずねた際には3番目に多かった「外国や異文化に対する興味をもってほしいから」は6.4%で第6位にとどまっている。

表4-1-4 学校外で英語学習をさせている最大の理由(学年別)

	学年別 (%)					
	1年生 (n=118)	2年生 (n=132)	3年生 (n=152)	4年生 (n=124)	5年生 (n=132)	6年生 (n=199)
英語を話せるようになってほしいから	①29.7	①36.4	①34.9	①35.5	①22.7	②18.1
英語を好きになってほしいから	②19.5	②16.7	③17.1	③12.9	13.6	③15.1
子ども自身がやりたがっているから	③13.6	③13.6	②21.1	②14.5	②15.9	11.6
将来の仕事に役立つ英語力を身につけてほしいから	11.9	5.3	9.9	9.7	14.4	8.5
中学校での英語学習に役立つから	0.8	1.5	3.3	8.1	③14.4	①23.1
外国や異文化に対する興味をもってほしいから	11.0	10.6	3.9	7.3	3.0	5.5
自分が英語で苦労したから	2.5	6.8	2.6	2.4	2.3	6.5
将来の受験に役立つから	1.7	0.0	1.3	4.0	4.5	3.5
まわりの友だちがやっているから	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0
その他	6.8	6.1	3.3	3.2	3.8	5.0
無答不明	2.5	2.3	2.6	2.4	4.5	3.0

\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみ対象。

\*各学年の上位3位までを①②③と表示。

学年別にみると(表4-1-4)、1年生から4年生までの保護者では、「英語を話せるようになってほしいから」「英語を好きになってほしいから」「子ども自身がやりたがっているから」という理由が、ベスト3であることは変わらない。しかし、5年生になると「中学校での英語学習に役立つから」という理由が第3位(14.4%)に登場し、6年生になるとその理由が23.1%で第1位になる。

本章第1節②で取り上げた学校外の教室や教材の種類について、高学年になると「学習塾の英語コース」が多くなる傾向がみられたが、学習をさせている理由をみても、高学年になると目の前の中学校を意識した英語学習へと目的がシフトするものと考えられる。

## 2. 英語学習の望ましい場

子どもが英語学習をするのに望ましい場をたずねたところ、50.1%の保護者が「学校だけで学ばよ」と回答し、36.4%が「学校と学校外の両方で学ぶのがよい」と回答している。これには地域差があり、大都市では「学校と学校外の両方で学ぶのがよい」の方が多く、中都市や郡部では「学校だけで学ばよ」という回答の方が多い。

Q お子様が小学生のうちに英語を学習するとしたら、どこで学ぶのがよいと思いますか。

図4-2-1 英語学習の望ましい場 (n=4,718)

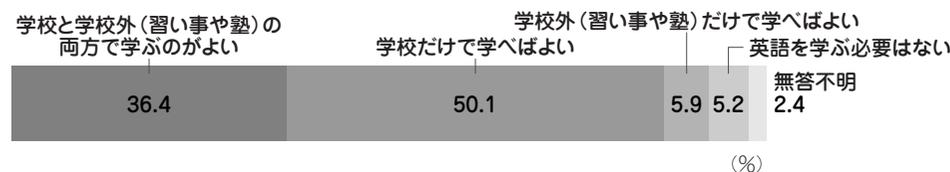
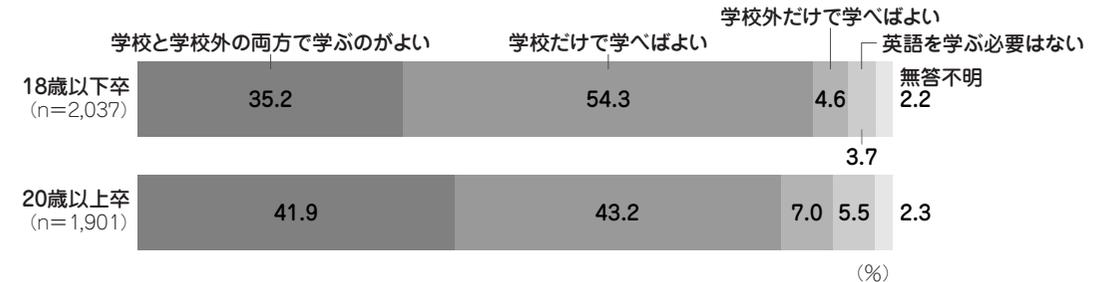


図4-2-4 英語学習の望ましい場 (母親の学歴別)



\*「母親の学歴別」は、母親の回答のみ分析。「あなたが最後に学校を卒業したのは、だいたい何歳のときでしたか」の設問に、「15歳」「18歳」と回答した場合は「18歳以下卒」、「20歳」「22歳」「24歳以上」と回答した場合は「20歳以上卒」とした。

図4-2-2 英語学習の望ましい場 (地域別)

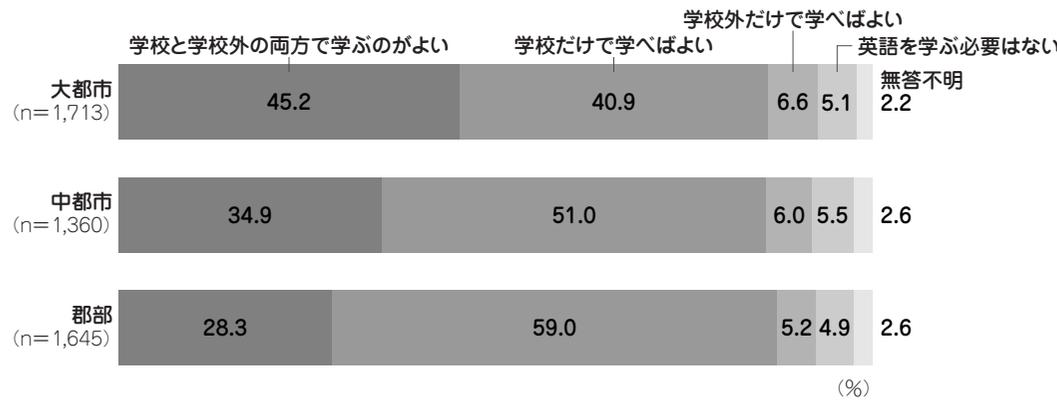
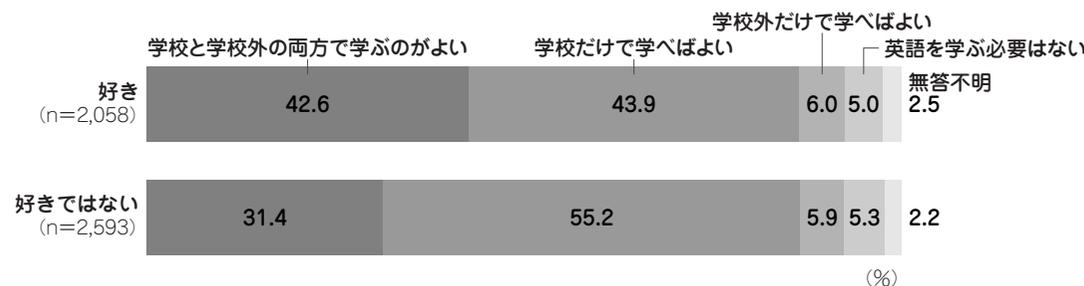
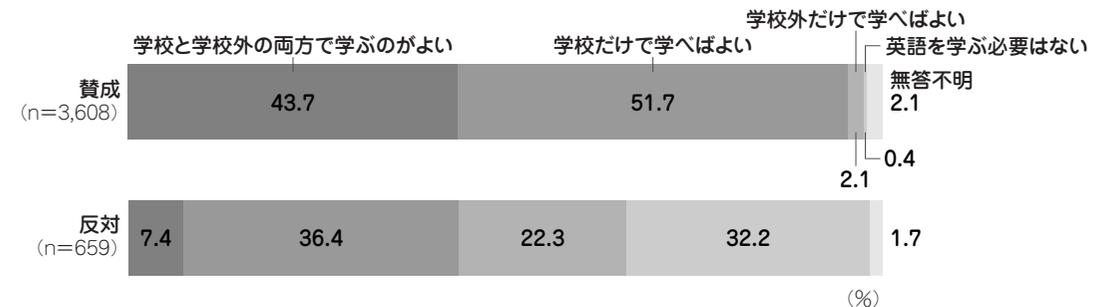


図4-2-3 英語学習の望ましい場 (保護者の英語の好き嫌い別)



\*「好き」は、「英語が好きですか」の設問で「とても好き」「まあ好き」と回答した場合。「好きではない」は、「あまり好きではない」「まったく好きではない」と回答した場合。

図4-2-5 英語学習の望ましい場 (小学校英語の必修化の賛否別)



\*「賛成」は、「小学校で英語教育を必修にすることについて、賛成ですか、反対ですか」の設問で「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した場合。「反対」は、「反対」「どちらかといえば反対」と回答した場合。

保護者は、子どもが英語学習をする場はどこがよいと考えているのだろうか。学校教育(公教育)と学校外教育(私教育)のとらえ方について、保護者の意識をみてみたい。

小学生のうちに英語学習をするとしたらどこで学ぶのがよいと思うかをたずねたところ、「学校だけで学ばよ」が50.1%で、「学校と学校外(習い事や塾)の両方で学ぶのがよい」が36.4%だった(図4-2-1)。

しかし、これについては地域差が大きい(図4-2-2)。大都市の保護者だと、「学校だけで学ばよ」が40.9%、「学校と学校外の両方で学ぶのがよい」が45.2%で、「学校と学校外の両方」という回答の方が多い。しかし、この回答は、中都市だと34.9%、郡部では28.3%と少なくなる。この理由としては、英会話教室や学習塾といった、学校外の教育機会を利用できるかどうかという点で地域差が大きく、意識面にもこうした点が反映されているものと考えられる。

さらに、保護者自身が英語を好きかどうかによってみたところ、英語が「好き」な保護者では「学校だけ」と「学校と学校外の両方」との回答がともに4割程度だが、「好きではない」保護者だと「学校だけ」との回答が多い(図4-2-3)。また、母親の学歴別では、「20歳以上卒」の母親の方が、「学校と学校外の両方」との回答の方が多い(図4-2-4)。

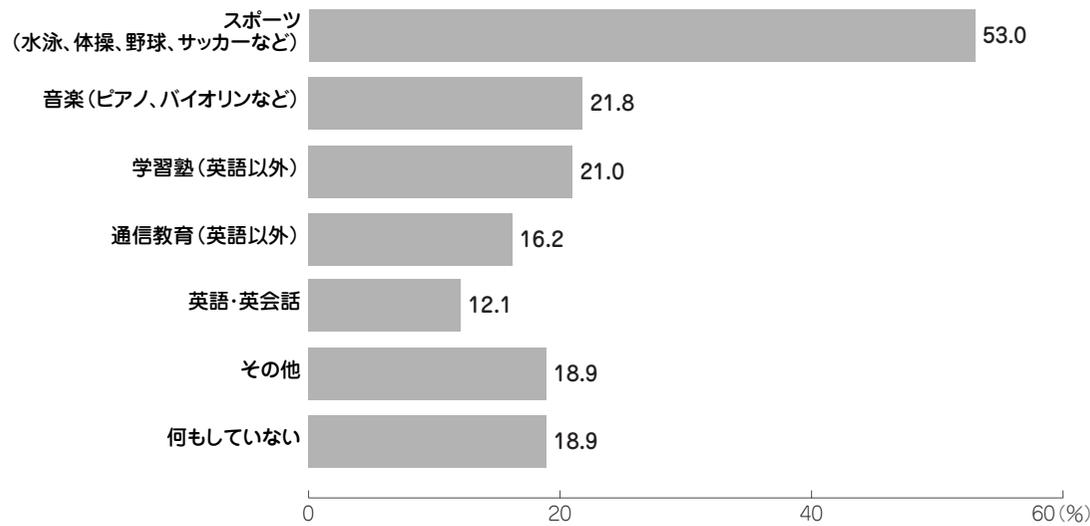
最後に、小学校英語の必修化の賛否別でみると、「賛成」の保護者は「学校だけ」が51.7%、「学校と学校外の両方」が43.7%となっている。また、「反対」の保護者だと36.4%が「学校だけ」、32.2%が「英語を学ぶ必要はない」、22.3%が「学校外だけ」、7.4%が「学校と学校外の両方」と回答している(図4-2-5)。こうしてみると、必修化に反対の保護者であっても、必ずしも英語学習そのものを否定しているわけではないようだ。

### 3. 学校外の習い事・学習

学校外の習い事や学習でもっとも多かったのは、「スポーツ（水泳、体操、野球、サッカーなど）」で、5割を超える小学生が行っている。全般に、大都市の方が、学校外の習い事や学習を行っている割合は高い傾向にある。

Q お子様は、学校の授業以外で、次のような種類の習い事や学習をしていますか。

図4-3-1 学校外の習い事・学習 (n=4,718)



\*複数回答。

表4-3-1 学校外の習い事・学習 (学年別)

	学年別					
	1年生 (n=732)	2年生 (n=711)	3年生 (n=758)	4年生 (n=766)	5年生 (n=790)	6年生 (n=830)
スポーツ (水泳、体操、野球、サッカーなど)	44.1	53.0	55.7	57.3	57.5	49.4
音楽 (ピアノ、バイオリンなど)	21.0	22.9	22.8	23.6	20.4	21.7
学習塾 (英語以外)	10.4	14.9	18.7	23.8	28.2	29.3
通信教育 (英語以外)	19.3	20.3	17.7	17.2	11.5	12.5
英語・英会話	9.8	13.2	14.0	10.7	10.5	13.9
その他	13.8	19.7	23.5	20.4	19.0	16.5
何もしていない	29.2	20.8	16.8	14.9	15.3	17.3

\*複数回答。

表4-3-2 学校外の習い事・学習 (地域別/母親の学歴別)

	地域別			母親の学歴別	
	大都市 (n=1,713)	中都市 (n=1,360)	郡部 (n=1,645)	18歳以下卒 (n=2,037)	20歳以上卒 (n=1,901)
スポーツ (水泳、体操、野球、サッカーなど)	61.6	47.6	48.6	47.2	62.1
音楽 (ピアノ、バイオリンなど)	25.3	21.2	18.7	15.0	31.2
学習塾 (英語以外)	32.0	17.1	12.8	16.0	27.7
通信教育 (英語以外)	21.5	14.9	11.7	12.8	21.8
英語・英会話	14.8	13.8	7.8	9.8	16.6
その他	18.3	20.2	18.4	17.2	22.3
何もしていない	10.6	23.2	23.9	26.0	8.6

(%)

\*複数回答。

\*<>は5ポイント以上の差があったもの。<<>は10ポイント以上の差があったもの。

\*「母親の学歴別」は、母親の回答のみ分析。「あなたが最後に学校を卒業したのは、だいたい何歳のときでしたか」の設問に、「15歳」「18歳」と回答した場合は「18歳以下卒」、「20歳」「22歳」「24歳以上」と回答した場合は「20歳以上卒」とした。

小学生は学校外でどのような習い事や学習を行っているのだろうか。学校外の習い事や学習全般についてたずねた。

もっとも多かったのは「スポーツ(水泳、体操、野球、サッカーなど)」で、5割を超える。次いで「音楽(ピアノ、バイオリンなど)」と「学習塾(英語以外)」が2割程度である(図4-3-1)。

学年別にみると、「スポーツ」は、1年生では44.1%だが、2年生から5年生では5割を超え、6年生でやや減少する。「学習塾(英語以外)」は、1年生では10.4%だが、学年があがるにつれて増加し、6年生では29.3%にのぼる。これとは反対に、「通信教育(英語以外)」は、1年生では19.3%だが、6年生では12.5%となっており、高学年では減少する傾向にある(表4-3-1)。

地域別にみると、大都市は全般に習い事を行っている割合が高いが、特に「スポーツ」や「学習塾(英語以外)」「通信教育(英語以外)」が、中都市や郡部よりも高くなっている(表4-3-2)。また、母親の学歴別では、母親が「18歳以下卒」の場合より、「20歳以上卒」の方が、いずれの習い事や学習でも実施率が高く、教育熱心な様子が見えてくる。

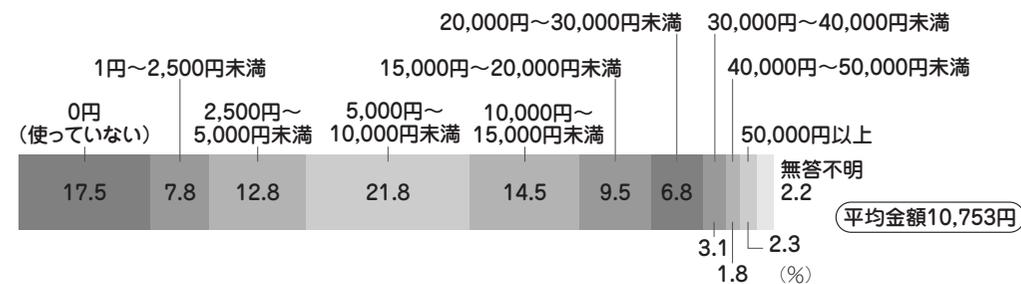
※なお、ここでの設問は、学校外での習い事や学習全般を把握することを目的としている。そのため、保護者の認識により、本章第1節で取り上げた「学校外での英語学習」の設問の回答とは必ずしも一致しない。

## 4. 教育費 ① 学校外の教育費

学校外での習い事や学習などにかかる1か月の費用は、「5,000円～10,000円未満」が最多で21.8%。平均金額でみると、10,000円程度だった。また、学年があがるにつれてその金額は増加する。

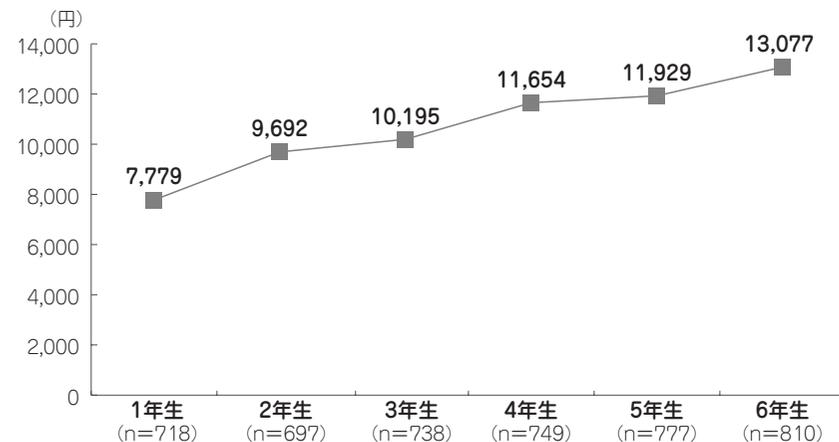
**Q** お子様の教育費についてうかがいます。お子様1人について、学校での費用を除いた習い事、通信教育、塾、レッスンなどの1か月の費用の合計を教えてください。

図4-4-1 学校外の教育費 (n=4,718)



\*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した(平均金額算出の母数は、4,614人)。

図4-4-2 学校外の教育費の平均金額(学年別)

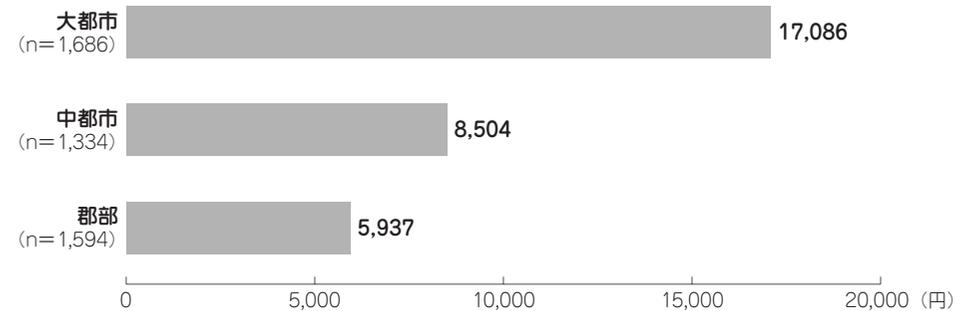


\*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した。

保護者は、子どもの学校外での教育に対して、どの程度の教育費をかけているのだろうか。習い事や通信教育、塾、レッスンなどにかかる、子ども1人あたりの1か月の費用の合計をたずねた。

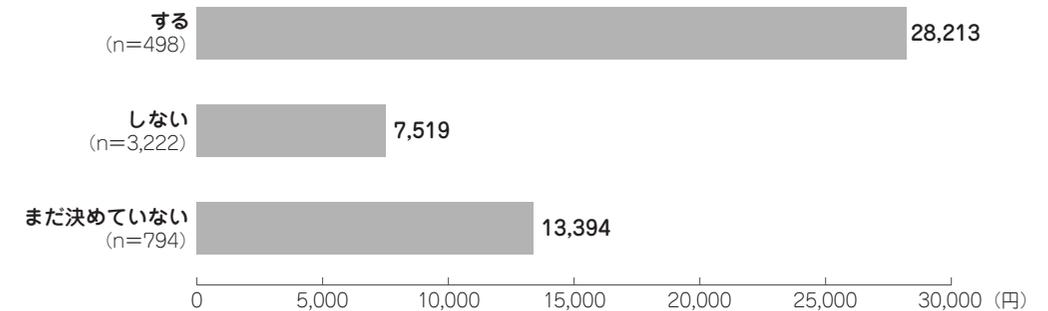
はじめに、どのくらいの費用負担をしている層が中心なのかをみると、「5,000円～10,000円未満」が21.8%、「10,000円～15,000円未満」が14.5%、「2,500円～5,000円未満」が12.8%、などとなっている。また、「0円(使っていない)」という層も17.5%いる一方で、20,000円以上もの教育費をかけている保護者も合わせて14.0%いる。なお、「無答不明」の場合を除いて平均金額を計算したところ、10,753円であった(図4-4-1)。

図4-4-3 学校外の教育費の平均金額(地域別)



\*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した。

図4-4-4 学校外の教育費の平均金額(中学受験予定の有無別)



\*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した。

\*「お子様は、中学受験をする予定ですか」の設問で「する」「しない」「まだ決めていない」と回答した場合。

次に、学年別に、学校外教育費(平均金額)の推移をみた(図4-4-2)。これによると、学年があがるにつれて、教育費の平均金額は徐々に増えていく。1年生だと8,000円弱だが、2年生になると10,000円近くになり、3年生では10,000円を超える。そして、4・5年生では、12,000円近くになり、6年生では13,000円を超える。

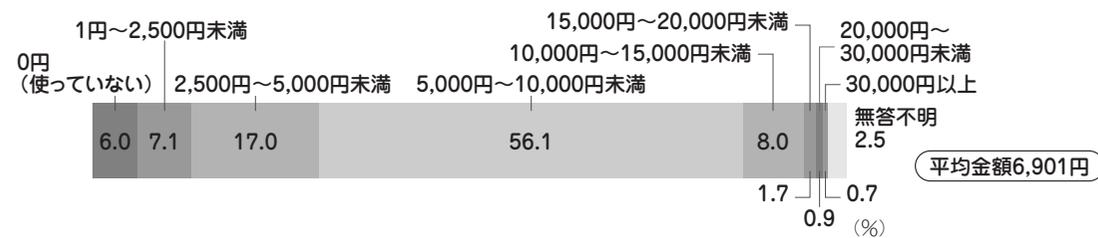
地域別に平均金額をみると、大都市では17,086円、中都市では8,504円、郡部では5,937円となっており、地域によって大きな違いがみられた(図4-4-3)。さらに、中学受験予定の有無別に平均金額をみたところ(図4-4-4)、中学受験を「する」予定の場合には28,213円であるのに対し、「しない」予定の場合には7,519円と、実に4倍近い金額の差がついていた。こうしてみると小学生の学校外教育費の多寡には、目前に存在している中学受験が一つの大きな要因となっていると考えられる。

## ②英語学習の教育費

学校外で英語学習を「行っている」場合の1か月の費用は、「5,000円～10,000円未満」が最多で56.1%。平均金額でみると、7,000円弱だった。

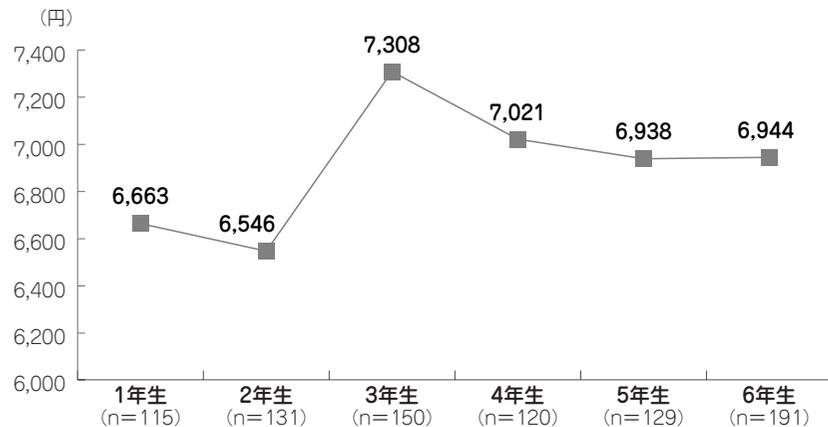
**Q** 英語学習の費用はどのくらいでしょうか。学校での費用を除いた英語の学習にかかる1か月の費用の合計を教えてください。

図4-4-5 学校外の英語学習費用



\*調査票では全員回答の設問だが、学校外で英語学習を「行っている」と回答した人(886人)のみを分析対象とした。  
 \*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した(平均金額算出の母数は、864人)。  
 \*「30,000円以上」は「30,000円～40,000円未満」「40,000円～50,000円未満」「50,000円以上」の%。

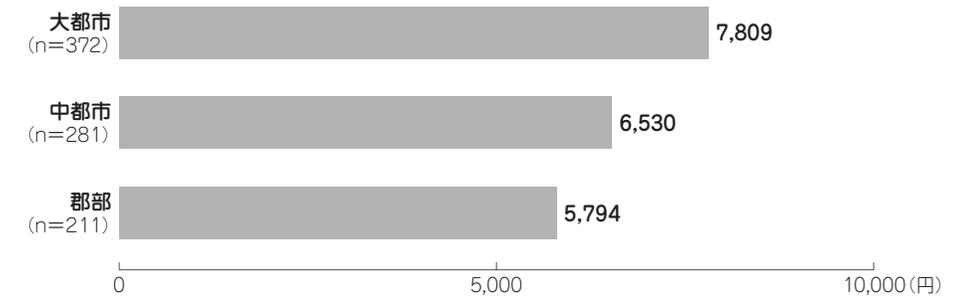
図4-4-6 学校外の英語学習費用の平均金額(学年別)



\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみを分析対象とした。  
 \*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した。

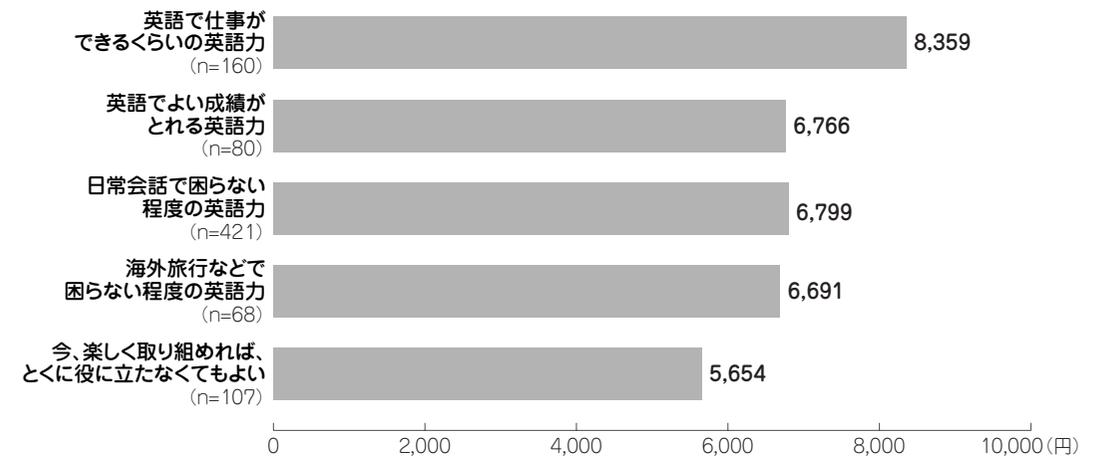
子どもの学校外での英語学習に対して、保護者はどのくらいの費用をかけているのだろうか。子どもが学校外で英語や英会話の学習を「行っている」と回答した保護者に、1か月あたりの英語学習の費用をたずねた(図4-4-5)。もっとも多かったのは「5,000円～10,000円未満」で56.1%、次いで「2,500円～5,000円未満」が17.0%だった。平均金額を算出したところ、6,901円となった。次に、学年別に、英語学習の費用(平均金額)をみてみよう(図4-4-6)。低学年で英語学習を「行っている」場合、6,600円前後である。中学年は若干高く7,000円台であり、高学年は5年生が6,938円、6年生が6,944円であった。

図4-4-7 学校外の英語学習費用の平均金額(地域別)



\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみを分析対象とした。  
 \*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した。

図4-4-8 学校外の英語学習費用の平均金額(子どもに期待する英語力別)



\*学校外で英語学習を「行っている」と回答した人のみを分析対象とした。  
 \*平均金額は、「0円(使っていない)」を0円、「1円～2,500円未満」を1,250円のように置き換え、「無答不明」を除いて算出した。  
 \*「お子様が英語を学ぶ際、どのレベルの英語力を身につけてほしいか」との設問の回答別に集計。なお、「今、英語を学ばせる必要性は感じない」と回答した場合と「無答不明」の場合は省略した。

また、地域別にみると、大都市で7,809円、中都市で6,530円、郡部で5,794円となっており、都市部ほど英語学習費用の平均金額が高いことがわかる(図4-4-7)。

最後に、子どもに期待する英語力別に費用の違いをみると、「英語で仕事ができるくらいの英語力」を期待して英語学習をさせている保護者だと、平均して1か月あたり8,359円の費用をかけている(図4-4-8)。一方、「今、楽しく取り組めれば、とくに役に立たなくてもよい」と考えている保護者の場合は、平均では5,654円となっている。子どもに期待する英語力と、費用負担額は関連していることがわかる。